

水曜会

第62号

令和6(2024)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



ぼらのまち福山

きだこうへい市政報告 vol. 12

令和6年1月

福山市議会議員 喜田紘平 第12回市政報告



喜田 紘平

拝啓 新春の候、新年を迎えて、身も心も新たな気分でお過ごしのことと
思います。本年も皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。
さて、皆様のお力添えのお陰で2期目の当選をさせていただき、市議会議員として歩み始め、
約8年が経過しました。2期目の任期も残りあとわずかとなりました。残りの任期も引き続き
しっかりと務め上げ、市民の皆様のお力に更になれますよう、全力で市政に取り組んでいく
所存でございます。
この度、私の市議会議員としての活動をまとめました『きだこうへい市政報告』第12号が
出来上がりました。ぜひ一読いただければ幸いです。
引き続き、皆様から変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いたします。



今回の補正は、世界バ
ラ会議福山大会に向け、

2025年に開かれ
る世界バラ会議福山
大会に向け、基金を
創設

定例会を11月28日か
ら12月18日にかけて
開催。世界バラ会議
福山大会に向けて基
金の積立金や、公共
施設の光熱費高騰に
対応する経費などを
盛り込んだ一般会計
補正予算案など49議
案が上程され、賛成
多数で可決しました。

12月定例市議会

緑町公園ばら花壇へ苗木
の植え付けや、「世界バ
ラ会議福山大会記念基
金」を創設。芸術、文化
活動を推進するため、新
年度から開始する定期演
奏会に向け、チケット販
売などの準備費や、公共
施設の光熱費の高騰に対
応する経費などです。
そのほかには、条例に
基づく財政調整基金の積
立金などです。
財政調整基金は、災害
などの不測の事態や年度
間の財源不足に備えるた
め、決算議与金などを積

12月補正予算の概要

	1次分	2次分
一般会計	75億3,923万円	54億3,117万円
特別会計	3,028万円	
企業会計		
小計	①75億6,951万円	②54億3,117万円
③全会計合計	①+②130億68万円	

12月補正予算(主な事業)

二次分では、 原油価格・物価高騰対策分 公共施設光熱費等高騰対応	2億8,480万円
新型コロナウイルス感染症対策分 介護サービス継続支援事業費補助 通常分	2億8,946万円
世界バラ会議福山大会記念基金積立金 公共施設等の整備	5億1,925万円 3,847万円
文化・芸術活動の推進	170万円
地域集会所建設費補助 10団体	431万円
事業費の整理に伴うもの	18億8,472万円
財政調整基金積立金	23億7,000万円
国庫負担金等返還金	18億7,507万円
寄付金対応	1,057万円
後期高齢者医療特別会計 人件費分	1,059万円
人件費等	2億8,054万円

二次分では、住民税非課税世帯に、一世帯あたり7万円を支給する国の物価高騰対策分43億580万円を計上。省エネ家電買替支援事業費に2億4,000万円、その他では、中小事業者向けにLPガス料金高騰分の支援や、介護・障害福祉サービスの食材費補助などです。

み立てるものです。
なお、補正後の財政調
整基金残高は、約177
億円となります。

二次分では、国の総合
経済対策を踏まえ、物価
高から市民生活を守るた
め、住民税非課税世帯を
対象とした給付金の給付
や、省エネ性能の高いエ
アコンと冷蔵庫への買い
替えを補助する事業費な
ど、市民や事業者に対す
る支援を実施するもので
約54億300万円の補
正で、一次・二次分補正
予算合計では約130億
円の予算規模となってい

物価高から市民を守
るため、住民税非課
税世帯に給付金を



2022年アデレード大会にて

- 12月議会の一般質問者は左記のとおりです。
 - 小林茂裕 福山の海の環境整備について
 - 大田祐介 町のまちづくりについて
 - 連石武則 地域振興について
 - 喜田紘平 子どもの見守り体制について
 - 木村素子 若者の居場所支援策について
 - 羽田俊介 保育行政について
- 詳細は、2月1日発行の「福山市議会だより」に掲載されます。

一般質問に水曜会から
6人が登壇
枝広直幹市長を質す

賛成討論
今回の補正は、コロ
ナ対策としての介護サ
ービス継続支援事業費
補助や、公共施設の光
熱費等高騰対応、世界
バラ会議福山大会に向
けた基金積立や、公共
施設等の整備のほか、
事業費の整理や人事院
勧告に伴う人件費等の
調整等で、いずれも市
民生活に直結した予算
であり、早期執行を求
め賛成。

トピックその1

「こども発達支援センター」が更に進化します。



こども発達支援センター(福山すこやかセンター内)



(2023年7月16日 中国新聞)

発達障害 の子どもたちの相談や診察に取り組む「こども発達支援センター」
ですが、中国新聞でも大きく報道されましたが、2023年8月からオンラインでの診察が
開始されました。

私が市議会議員になる前は、同センターの常勤医師や専門職の人員が少なく、診察を予約
してから実際の受診開始まで6ヶ月近くかかっていた。

また当時は、未就学児しか相談や診察をしてもらえず、小学校就学後は全て県立の若草園
等、別の療育施設や医療機関への転園・転院を余儀なくされ、就学後の相談や診察が若草
園等に集中し、同園では最大で8ヶ月もの受診待ち期間が発生していました。

それが ここ数年で、同センターにおいて常勤医師等の増員を行い、受診待ち期間
も2、3ヶ月まで短縮され、また、再診の場合に限られるものの、小学校就学後の診察も
可能となりました。

お悩みの保護者の方々からご要望の大変多かった課題でしたが、多くの方々のお力により
徐々に改善し、同センターの機能が強化・進化してきました。子どもたちや保護者の方々
にとってとても有り難く嬉しい限りです。

とはいえ、まだまだ発展途上であるとも思っています。引き続き更なる機能強化に向け、
提言を続けてまいります。

トピックその2

ついに公共施設へ「スマートロックシステム」が導入!

私のホームページ上に設置する市民の方々がお気軽に市へのご要望やご意見を投稿できるシステム「福山目
安箱」を通じてご要望を沢山いただいていたこの案件。今から2年半前の議会本会議での一般質問の中
で初めて要望をさせていただき、そこから委員会を通じての議論や、個別に担当部局への要望をさせてい
だいてきました。

ようやくこれから交流館で本格導入がされていくことが決定し、24年度末までに全93
館の交流館全てでスマートロックシステムが使えるようになります!

これまで市民の方々から、交流館等における対面での物理キーの受渡し手続きに対する不満のお声や、改善
への要望のお声が沢山届いていました。近年、台風や集中豪雨等の被害も多く、避難場所に指定された公共施
設への迅速な入室管理も求められていますが、現在の物理キーを使う仕組みではどうしても限界があります。

更に、実際私も保育園の保護者会長やPTA役員を長らくさせていただいてきた中で、交流館等の公共施設
を使わせていただいていたのですが、どうしても現在の物理キーの受け渡しの仕組みでは、土日に交流館等を
使いたい場合、その直前の平日の日中に仕事を抜けて物理キーを受け取りに行く必要があり、子育て世代の働き方が大きく変わった現
代には、その仕組みが時代的に馴染まないところも出てきています。

そうした中で、今回のスマートロックシステムの本格導入は、市民の方々の交流館使用において利便性が大きく向上していくと期待を
しています。実現できたのは、もちろん私1人の力ではなく、多くの方々のお力添えのお陰ではありますが、これまで議会等で議論し
要望してきたことが実現でき、市民の方々のお力になって、とても嬉しい気持ちで一杯です。



(2023年7月6日 中国新聞)

連絡先
電話 080-2889-4125
Fax 084-993-4034
mail kidakohei.fukuyama@gmail.com

※次号からの郵送をご希望の方は、
左記までご連絡下さい。

facebook
きだこうへい 検索



喜田紘平 Official HP
http://kidakohei.com

『6月議会 本会議での一般質問』

- 1 少子化対策プロジェクトについて
- 2 市民窓口のデジタル化について
- 3 デジタル採点システムの導入について
- 4 教職員のメンタルヘルス対策について

『12月議会 本会議での一般質問』

- 1 保育士復職相談事業について
- 2 子どもの見守り体制について
- 3 放課後児童クラブの開設時間延長について
- 4 21世紀型スキル&倫理観について



上記の議会での質問の映像記録を、きだこうへい個人のホームページに公開しております。質問の様子の手紙が公開されておりますので、こちらもぜひご覧ください。



(議会での質問動画)



1 少子化対策プロジェクトについて

Q 本市は、今後の少子化に向けた課題として、その前段階である、未婚化や晩婚化、出生数の減少に着目され、その背景として、若者の所得や雇用等の**経済的な不安定さ**や、出会いの機会の減少など、少子化の背景にある課題解消に向けた対策に取り組もうとされておられますが、それぞれの課題解決に向けた取り組みへの具体をお聞きました。(一部抜粋)

A 市長から、「先日、少子化対策の庁内プロジェクトをスタートした。これまでも全力で人口減少対策に取り組んできたが、2011年と2021年の数値を比較すると、**出生数は約1300人減少**した。今後は、庁内プロジェクトを中心に、専門家への意見聴取やニーズ調査を行い、その結果を分析するとともに、9月を目途に、効果的な施策の方向性を取りまとめていく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

どこまでこの少子化という課題に対して、市として向き合っていくのが本当に問われている課題です。今後、経済的な理由で結婚や出産を控えている現状がある以上、保育料や教育費の在り方はどうあるべきなのかをもっと検討していただくこと、全ての子どもたちが公平に支援が受けられる仕組みづくりを更に検討し進めていただくことを強く要望しました。

2 市民窓口のデジタル化について

Q 現在本市では、**書かない窓口システム**を導入していますが、現在までにこのシステムが実際に使われた件数と割合、またこのシステムを導入する前の窓口における手続きの平均所要時間と、導入後の所要時間をそれぞれお聞きました。先日視察に行った北海道北見市では、**独自開発の「窓口支援システム」を導入され、複数の部署をまたぐ手続きが1つの窓口で完了**するワンストップの窓口サービスを実現していました。今後本市でも、早期にこうしたシステムの導入の検討が必要と感じ、お考えをお聞きました。(一部抜粋)

A 市長から、「『書かない窓口システム』を利用した件数は、5月末で2199件、総受付件数の3.6%。導入以前の平均所要時間は証明書発行が約20分、住民異動届に関する手続きが約60分。これは導入後もほぼ変わらない。今後については、2025年度のシステム標準化に合わせて、**手書き部分の更なる簡素化や証明書発行の自動化**に加え、対応可能な手続き数が、**現在の8つから約200に拡充**される見込みであり、ワンストップサービスを大きく進めることができると考えている。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

他の手続きのために別階のフロアを市民の方々が巡回することを無くすことで、手続きの漏れを防げ、多くの事務手続きが1つの窓口で完了できる、ワンストップ窓口の整備を要望しました。

3 デジタル採点システムの導入について

Q テストの採点にデジタル採点システムを導入している中学校が市内に複数ありますが、導入を決めた学校の中には、教育振興費ではまかなえず、別会計からの出資や保護者負担を求める形などで資金をまかない、導入をしている学校もあると聞いています。数年後、**市教委は、市内全校で校務管理のDX化を計画**していますが、すでに導入している学校では、そのシステムは使用中止となり、導入に要した費用も無駄な費用となってしまう。まずは**早期に、このデジタル採点の仕組みだけでも全校統一のシステムを導入すべきだ**と考え、お考えをお聞きました。(一部抜粋)

A 教育長から、「現在30校中13校がシステムを活用している。**学校からは、設問ごとにまとめて採点することができ、得点集計もされるため、時間短縮につながった**等の声がある。本市では、2025年度に教職員の業務改善等を目的とする統合型校務支援システムを導入する予定である。この導入にあたり、デジタル採点システム機能等についても、教職員の声を聞きながら検討していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

業務時間内にできるだけスピーディーに採点でき、持ち帰りリスクも削減できるデジタル採点システムの導入を、きちんと予算化して早期に進めていただきたいと再度要望しました。

4 保育士復職相談事業について

Q 保育士の資格を持っているものの、現在保育の仕事に就いていない、いわゆる**「潜在保育士」**が、厚生労働省の調査によると全国に107万3千人いるとされる中、本市における保育士の人材不足の状況をお聞きました。また、本年度から始まった、復職を希望する保育士と保育施設の橋渡しをする事業である、保育士復職相談事業についての今後の方向性についてお尋ねしました。(一部抜粋)

A 市長から、「回答があった**92施設中58施設が保育士不足**であり、必要な保育士は135人である。保育士復職相談事業は、保育施設課内に相談窓口を設置し、コーディネーターが復職を希望する保育士の意向を丁寧に聴く中で、希望にあう施設とマッチングを行うものである。今後、この事業の周知を図ることで、復職者数を増やし、保育士不足の解消に繋げていく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

5 子どもの見守り体制について

Q ICTを活用した子どもの**登下校の見守りサービス**の導入についてお尋ねしました。またICTを活用した見守りサービスが構築できれば、支援が必要な**高齢者の見守りサービス**等にも活用することが可能となり、より安心・安全なまちづくりに繋がることとなります。高齢者への施策についても併せてお聞きました。(一部抜粋)

A 市長、教育長から「子どもの見守りはICTを活用したものを含め、社会全体でより安全の確保を図っていく必要があると考えている。高齢者の見守りサービスについては、ICTを活用した効果的な見守りの仕組みづくりについて検討していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

『福山目安箱』

今回の質問項目も、私のホームページ上での市民の方々からの市政へのご意見やご要望をお聞かせいただくシステムである、「福山目安箱」に寄せられた、市民の方々からの生の声も参考にさせていただきます。質問を構成しました。



『福山目安箱』
福山に暮らしていて困っている事、改善してほしい事、もっとこうすれば福山の街が良くなる事...などを聞かせて下さい!!

リンク先はわたしのHP内になります。

お名前・ご連絡先の記入は必要ありません。皆様のお声を参考に、議会の場で提案させていただきます。

市民相談

市民の方からお寄せいただきましたご要望・ご相談の案件にお答え・お手伝いしました(一部抜粋)

「放課後児童クラブの開設時間の延長希望」

福山目安箱より、市内にあるほとんどの放課後児童クラブでは開設時間が18時まで。一方、市内にある多くの保育園やこども園では、開園時間が19時までとなっており、この1時間の差が、子育て世帯にとって大きな負担となっており、それまで正規雇用だった方が、放課後児童クラブの開設時間により、泣く泣く非正規雇用へと雇用形態を変更される方も。ひとり親家庭や核家族も増えてきた本市の現状において、放課後児童クラブの開設時間の延長は必要な施策であり、議会本会議や委員会において、度々市の執行部へ要望をし続けてきました。今回、多くの方々のお力添えにより、まずは2クラブからではありますが、それまで全く動かなかった現状が動き、とても嬉しく有り難い気持ちで一杯です。(現在は5クラブで実施。今後拡充の方向性。2023年8月2日 中国新聞)

「危険な砂場」

「小学校の砂場の枠組みが朽ちて危険性が高いため、学校側も使用禁止にはしているが、休みの日等にグラウンドを使っている子どもたちもいる為、子どもたちが怪我をしかねずとても危険である。何とか対応してもらえないだろうか？」現地を確認し、教育委員会と連携し、早急に修繕を完了する事が出来ました。



「カーブミラー設置」

「かなり交通量の激しい道路の交差点で、何度も車同士が事故をしかけている。歩行者もいつ事故に巻き込まれてもおかしくない。何か大きな事故に繋がる前に対応してもらえないだろうか？」現地を確認し、担当課と連携、早急にカーブミラーの設置を完了する事が出来ました。



きだこうへい 市民相談Q&A 検索 ←こちらにて、上記以外にも、ご要望・ご相談の案件をまとめています。

日々の活動の様子



1月 3年ぶりのとんど祭り。皆さんが集うお祭りは、これからも各地で続いてほしいと願っています。



2月 みらいの種主催のトークセッション、アテネオリンピック女子マラソン日本代表選手坂本直子さんと対談。



2月 2022年12月議会本会議の一般質問の中で、所得制限の撤廃について市長へ要望をさせていただいた案件。



2月 教育をデジタルで変革されている東京の最先端企業スタンドバイ株式会社の鈴木政秀さんとの意見交換。



3月 ふくやまマラソンに市議会の会派の皆さんと出場。今年も無事に目標タイム以内にゴール!



5月 人生初の小学校のゲストティーチャーとして、政治の在り方や役割などの授業をさせていただきました。



5月 議会提案した中学校の英語授業における市内学習塾と教育委員会との意見交換の場が実現を果たしました!



5月 空手道大会の大会会長を仰せつかりました。熱気と気合いと緊張に満ちた、独特の空気に包まれておりました!



7月 八王子市子ども科学館の視察へ。知的好奇心を満たす施設を早く福山に!引き続き提言を続けてまいります!



7月 行政視察で全国学力状況調査において、小・中学生共に常に全国トップクラスである福井市に行ってまいりました。



8月 『広島一長崎折鶴駅伝2023』に参加。無事走りきりタスキをつなぐことができて安心しました。



10月 4年ぶりとなる地域の秋祭り。子どもたちと一緒に御神輿を引き地域を回らせていただきました。



10月 発達障害に関するフォーラムを開催。行政としてどう向き合っていくのかの提案や提言ができました。



11月 『福山夢・未来開花プロジェクト』主催の市議会議員交流会へ。子どもたちから沢山の質問をいただきました。



12月 ホリスティックブレイン学院主催、藤原留衣先生と子どもたちの夢や目標についてのトークセッションに登壇。